

横浜市青葉区地区センター指定管理者選定委員会（第2回） 会議録			
日 時	令和3年8月3日（火）9時30分～16時35分 令和3年8月4日（水）11時00分～17時00分		
開 催 場 所	青葉区役所4階401～402会議室		
出 席 者 （五十音順）	名和田是彦委員長、荒堀洋子委員、上関裕之委員、中野しずよ委員 【臨時委員】※括弧内の施設の審議のみ出席 野本建夫委員（山内地区センター）、廣田茂委員（藤が丘地区センター）、齋藤秀樹委員（若草台地区センター）、越田美弥子委員（奈良地区センター）、志村邦治委員（大場みすずが丘地区センター）、森和夫委員（青葉台コミュニティハウス）、松山貴委員（荏田西コミュニティハウス）、齋藤正夫委員（新石川スポーツ会館）（計12名）		
欠 席 者	井上正明委員（美しが丘西地区センター）		
事 務 局	鈴木地域振興課長、高橋地域振興課担当係長、齊藤職員、古川職員		
開 催 形 態	一部非公開（傍聴者2名）		
議 事	1 指定管理者応募書類及び面接審査（施設ごとに実施）（公開） 2 指定候補者、次点候補者の選定（施設ごとに実施）（非公開） 3 その他（非公開）		
決 定 事 項	横浜市青葉区地区センターの各施設の指定候補者、次点候補者を下記のとおり選定し、青葉区長に報告する。		
	施設名	指定候補者	次点候補者
(1)	山内地区センター	公益社団法人横浜 市民施設協会	該当なし
(2)	藤が丘地区センター	公益社団法人横浜 市民施設協会	特定非営利活動法人 建物管理ネットワ ーク
(3)	若草台地区センター	公益社団法人横浜 市民施設協会	該当なし
(4)	美しが丘西地区センター	公益社団法人横浜 市民施設協会	該当なし
(5)	奈良地区センター	公益社団法人横浜 市民施設協会	該当なし
(6)	大場みすずが丘地区セン ター	アクティオ株式会社	公益社団法人 横浜市民施設協会
(7)	青葉台コミュニティハウ ス	公益社団法人横浜 市民施設協会	該当なし
(8)	荏田西コミュニティハウ ス	公益社団法人横浜 市民施設協会	該当なし
(9)	新石川スポーツ会館	公益社団法人横浜 市民施設協会	該当なし

審 議 内 容	<p>1 応募書類及び面接審査（応募団体プレゼンテーション・質疑応答） （公開、ただし応募者の関係者は除く） 欠格事項について、事務局から「該当なし」と報告。 応募者財務状況の確認結果について財務専門委員から「審査対象から除く必要なし」と報告。</p> <p>横浜市山内地区センター、横浜市藤が丘地区センター、横浜市若草台地区センター、横浜市美しが丘西地区センター、横浜市奈良地区センター（以上5施設は8月3日）、横浜市大場みすずが丘地区センター、横浜市青葉台コミュニティハウス、横浜市荏田西コミュニティハウス、横浜市新石川スポーツ会館（以上4施設は8月4日）の計9施設について、第1回委員会で確認した応募書類の受付順にプレゼンテーション及び質疑応答による審査を実施。</p> <p>【主な質疑内容】</p> <p>(1)山内地区センター 公益社団法人横浜市民施設協会 （委員）第三者評価の結果、アウトリーチ活動が不足していると指摘されていたが、アウトリーチ活動の充実についてその後どう取り組まれたか。地域コーディネーター研修についてもどのようなことを行っているか。また、コロナ禍での収入減に対しては、どの支出を削ったか。 （応募者）アウトリーチ活動については、認知症になっても安心して生活できるまちにすることを目標に、地域の様々な団体で立ち上がった「やさしい街あざみ野実行委員会」の一員として、山内地区センターを地域の拠点として打ち出していくために積極的に関わった。具体的には、施設と実行委員が連携し自主事業を実施した。利用の多いこどもの居場所づくりについても、アウトリーチ活動の中で考えていきたい。支出の削減は、LED化の更新を遅らせたり、事務所のパソコン等物品の更新を遅らせたりすることで対応した。</p> <p>(2)藤が丘地区センター ア 特定非営利活動法人建物管理ネットワーク （委員）新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって状況が変わる中で、施設の運営方法は変化を求められると思うが、今後どのような部分に重点を置いて施設運営をしたいと考えているか。 （応募者）利用者の安全・安心を担保することが一番大切である。当団体は、ビルメンテナンス等にノウハウを所持しているため、換気設備を充実させる等、感染対策の強化を行っていく。利用者数がコロナ禍により従来から半減しているため、来たくても来られない人にどうアプローチを行うかを考え、新しい形の自主事業につなげていく。</p> <p>イ 株式会社コア・プライム （委員）地区センターはコミュニケーション形成の場であってほしいが、指定管理者になった場合、地域の世代間交流をどう実施したいと考え</p>
---------	---

ているか。

(応募者) 高齢者を大切にするという意識を施設の中で培っていききたい。

ウ 公益社団法人横浜市民施設協会

(委員) 地域福祉保健計画についてどう考えているか。

(応募者) 地域の重要な課題として福祉的な課題を認識している。地域ケアプラザのコーディネーターと情報交換し、それぞれの施設の役割を相談・連携しながら、地域の中でより充実した取組みを行うことが大切だと考える。

(3) 若草台地区センター

公益社団法人横浜市民施設協会

(委員) 今後新たに打ち出したい企画、若草台ならではの提案等があれば教えてほしい。

(応募者) 若草台地区センターの特色は「地域密着型」という点である。ボランティアの方々が地区センターカフェのお手伝いや、年末大掃除を手伝ってくれている関係性を活かし、今後もサポーターと協力し様々な企画を進めていきたい。今後の提案としては、近隣の日体大等の学生の協力を仰ぎ、小学校向けのスポーツ教室の企画をすることで交流を広げることが出来ると考えている。同時に新しい利用者が地区センターに来館するきっかけとなるので、そのような活動を広げていきたい。

(4) 美しが丘西地区センター

公益社団法人横浜市民施設協会

(委員) 接遇ハンドブックを作成しているとのことだが、施設スタッフの実践度はどの程度か。また、接遇面においてはどの部分を伸ばしていきたいか。

(応募者) 実践については限りなく 100%と考えており、利用者の高い満足度にも繋がっている。感謝と思いやりの気持ちをもって対応するよう職員に日々伝えている。利用者は様々なニーズをもって来館するので、地区センターに何を求めているのかを汲み取り、きめ細かいサービスを提供していくことが必要である。その部分を今後の伸びしろとしていくべき部分であると捉えている。

(5) 奈良地区センター

ア 株式会社コア・プライム

(委員) 地区センター周辺の地域のニーズについて、把握していることを教えてほしい。

(応募者) 現在は十分に把握できていない。地区センターの周囲にどのようなニーズがあるのか分からないが、来館者の考えを汲み取り地域ニ-

ズに合うよう運営が出来たら良いと思っている。

イ 公益社団法人横浜市民施設協会

(委員) 接遇ハンドブックの内容として、高齢者や子供向けの心のケアに対応するための対応力・コミュニケーション力・判断基準等を新たに盛り込む予定はあるか。

(応募者) 接遇ハンドブックは接遇の基礎資料として作成しているため、現時点では考えていない。ただし次のステップとして、対象者別・条件別の対応が出来ることは必要になるため、より良いものを整備していけたらと考えている。

(6) 大場みすずが丘地区センター

ア 公益社団法人横浜市民施設協会

(委員) 複数施設を管理することに関して留意していきたい部分があれば教えてほしい。

(応募者) 複数館共通のシステムに不具合が起きると他館にも影響を及ぼすため、日常的にシステムのメンテナンスを実施すること。また、有事にはメンテナンス業者とダイレクトに連絡が取れる体制をとることで、早急に対応できる状態にしている。

イ アクティオ株式会社

(委員) 地域コーディネーター研修等の記載がないが、提案団体として地域のつながりづくりに関するスタッフのスキルアップ・専門性の向上についてはどのように考えるか。

(応募者) 地域コーディネーターの育成は重要な課題であると捉えているため、人材を集めて実践しながら地域貢献活動を実施していく。近年、地域のつながりについて関心のある利用者が複数いるため、そのような方々と相談させていただきながら企画について話し合いをしている。熱意のある方と多く接することが重要であると考えている。現在、接している方々を通じて輪を広げていきたい。

(7) 青葉台コミュニティハウス

公益社団法人横浜市民施設協会

(委員) 十分な養育環境が享受されない子や家に居場所がない子の居場所づくりとなれるような方策は考えているか。

(応募者) 地域ケアプラザとの連携事業「のびのびひろば」や育児に課題のある親子を集めて、幼稚園・地域ケアプラザ・地区センターと連携して保護者の悩みを聞き、遊びを交えて親子同士で交流する講座を実施している。また、地域のイベントカレンダーを作成し、近隣施設のイベントを紹介している。

(8) 荏田西コミュニティハウス

ア 株式会社コア・プライム

(委員) 防災キャンプ・防災パーティーといった事業計画案について、実現可能性という面で、今の検討状況を教えてほしい。

(応募者) 場所の確保については今後検討していくが、参加者がすでに持っている非常用グッズやキャンプ用品を活用して行いたい。

イ 公益社団法人横浜市民施設協会

(委員) 障害者支援や人権尊重の取組みの中に、車いす実践体験とあるが、外見からはわかりにくいメンタルの不調等をお持ちの方に向けては、交流促進等何か計画しているのか。

(応募者) 現在は行っていない。今後、ユニバーサルマナー研修等において、常勤職員が多様な方と向き合うマインドや行動力を学んだ経験を活かし、職員一同共生の場形成に努めていきたい。

(委員) 生涯学習が地域貢献につながるような下支えの計画はあるか。

(応募者) 他地区より比較的若い利用者が多いが、高齢化が進むことを見据えて、地域ケアプラザと協働で今後の人生を考える機会を提供している。生涯学習が個人レベルを超えて、地域課題の解決につながるためにも、地域福祉保健計画を参考にしながら地域の方々の交流の場を大切にしたい。

(9) 新石川スポーツ会館

公益社団法人横浜市民施設協会

(委員) テニスコートは成人男女がよく使うとの話だが、無料開放施設であるならば、より広い世代に利用が促進されるべきだと思うが、どう考えるか。また、一部の利用者が独占利用してしまうことはないのか。

(応募者) ルール上、中学生以上の利用としているが、利用予約の入っていない午後の遅い時間もしくは夜間の利用と時間が限定されるので、これが若い世代の利用促進が広まらない要因の一つであると考えられる。また、団体での応募が多いという特性があるため、幅広く利用してもらうためのルールづくり等、区と相談しながら進めていきたい。

2 指定候補者及び次点候補者の選定について（非公開）

(事務局) 評点について、集計したものを委員に提出。

(1) 山内地区センター

	団体名	総合評価（点）
指定候補者	公益社団法人横浜市民施設協会	508

(775 満点中)

【指定候補者に関する講評】

地域へのアウトリーチ活動として、地域の実行委員会に参加し、自主事業等で地域コーディネートの役割を担っている点は評価できる。一方で、地域への踏み込みが少し弱いと感じる。今後は子供の居場所としての施設の役割もあるということのを再認識し、子供が未来のまちづくりの主体者であるとの視点をもって、努力してもらいたい。

(2) 藤が丘地区センター

	団体名	総合評価 (点)
指定候補者	公益社団法人横浜市民施設協会	517
次点候補者	特定非営利活動法人建物管理ネットワーク	467

(775 満点中)

【指定候補者、次点候補者に関する講評】

・指定候補者に関する講評

今後5年間をお任せしたいと思わせる素晴らしい提案内容であった。提案どおり地域密着型かつ住民を下支えするような施設運営を実現できるよう努力し、運営がマンネリ化しないようにこの5年間の指定管理に務めてほしい。

・次点候補者に関する講評

当団体の強みとなる建物管理や資産管理を活かした提案は評価すべきものがあったが、地域とのつながりが弱く、地域福祉保健計画の理解が十分ではなかったことから、次点候補者として選定した。

(3) 若草台地区センター

	団体名	総合評価 (点)
指定候補者	公益社団法人横浜市民施設協会	512

(775 満点中)

【指定候補者に関する講評】

安定的かつ信頼感のある提案であった。また、多くのサポーターとともに施設を運営していく姿勢は素晴らしく、高く評価すべき点であった。一方で、積極性が少し弱いように感じられたので、現状の施設運営の延長ではなく、アンケート分析をもう一步進めることで、地域ニーズをより具体的に把握し、地域課題の解決に取り組んでほしい。

(例えば、午後の利用者数が少ないことも把握できているので、「午後に定期的に子供向けの自主事業を企画する」等、大胆な提案があればさらに良かった。)

(4) 美しが丘西地区センター

順位	団体名	総合評価 (点)
指定候補者	公益社団法人横浜市民施設協会	413

(620 満点中)

【指定候補者に関する講評】

全体的に安定しており、取組み姿勢に情熱と誇りが感じられた。アンケート

によれば、サービスや接客態度は高評価であるが、親しみのある利用者との交流に甘んじていないか、振り返る姿勢を持ってほしい。利用者アンケートのクロス分析を実施するなど、更に綿密なニーズ把握に取り組んでほしい。

(5) 奈良地区センター

	団体名	総合評価 (点)
指定候補者	公益社団法人横浜市民施設協会	514

(775 満点中)

【指定候補者に関する講評】

立地により利便性はあまり良くないが、前指定管理期間に来館者数を大幅に伸ばしており、現場の館長やスタッフの努力が感じられる。伸びしろを活かしつつ更なる飛躍を目指してほしい。自治会の会議に出席して得られた情報や地域コーディネート研修での理解を深め、施設運営に活かしてほしい。

(6) 大場みすずが丘地区センター

順位	団体名	総合評価 (点)
1	アクティオ株式会社	568
2	公益社団法人横浜市民施設協会	488

(775 満点中)

【指定候補者、次点候補者に関する講評】

・指定候補者に関する講評

表面的ではない独自視点の踏み込んだ研修を行っており、また施設交流会等で学んだことを施設運営に活かしている点は、高く評価される部分であった。

次期は地域福祉保健計画への理解を深め、地域コーディネート力を強化することで地域を下支えし、地域人材の発掘方法を磨いてほしい。

・次点候補者に関する講評

当団体は提案内容に非常に安定性があり評価できる部分ではあるが、逆に踏み込んだ提案が少なく、チャレンジ精神に物足りなさを感じた。総合評価は指定候補者に次ぐものであったため、次点候補者として選定した。

(7) 青葉台コミュニティハウス

	団体名	総合評価 (点)
指定候補者	公益社団法人横浜市民施設協会	526

(750 満点中)

【指定候補者に関する講評】

図書館機能にプラスしてコミュニティ形成の役割を担う施設として、地域の文化教育を支えるとともに、情報発信源となっていることを評価したい。自主事業も青葉台コミュニティハウスならではの提案も多く、工夫が出来ていた。家に居場所がない子、恵まれない家庭の子に寄り添う働きかけや、障害のある方への読み聞かせボランティア等の新しい取組みに期待したい。

(8) 荻田西コミュニティハウス

順位	団体名	総合評価（点）
指定候補者	公益社団法人横浜市民施設協会	468

(750 満点中)

【指定候補者に関する講評】

過去の実績は評価できるものであり、現場スタッフの頑張りや意欲が伝わる内容だった。一方、今までの実績についての内容が多く、今後についての提案では具体性に欠けていた。ネット予約を可能にするなど、利用者目線でサービスの向上に努めてほしい。

(9) 新石川スポーツ会館

順位	団体名	総合評価（点）
1	公益社団法人横浜市民施設協会	450

(750 満点中)

【指定候補者に関する講評】

前期と同様に、継続・安定した運営に期待できる。利用者の立場から見ても、地域に根差したスポーツ施設であると評価できる。子育て世代や小学生の利用促進に意識を向けた、新しいアイデアを企画・実施してもらいたい。

【総評】

全体的に緊張感のある状態で会議が進行し、各応募団体の真剣さが伝わるものであった。一方で、9施設のうち5施設は現指定管理団体のみが応募してきており、安定的な運営が評価される一方で、未来に向けたチャレンジ精神のある具体的な提案に物足りなさを感じた。指定管理者制度の理念を施設運営に反映させるためにも、より多くの応募団体に新規参入を促す工夫が求められる。

地区センター条例施設は、地域コミュニティやネットワーク醸成の上で重要な役割を果たし、青少年の健全な育成にも不可欠な施設となっている。そうした観点を踏まえ、指定管理者および次点候補者ともに以下5つの共通課題が指摘されているので、選定された際には指摘事項を確認の上、今後の運営に反映してほしい。実施状況については、第三者評価の際等に確認する必要がある。

- 1、 地域へのアウトリーチ強化・地域コーディネート機能の観点
- 2、 従事スタッフの育成・キャリア形成の観点
- 3、 ICT 機能強化の観点
- 4、 小・中学生の児童の居場所づくり、サービス向上の観点
- 5、 困難を抱える青少年や障害者の方へのアプローチの観点

3 その他

講評、総評に基づき、報告書を青葉区長に提出する。

資料	<ol style="list-style-type: none">1 次第2 第2回委員会について3 評点表4 応募書類一式
----	--